



## 病床利用率

---

### <項目解説>

---

質の高い医療を継続的に提供するためには、経営基盤の安定が必要不可欠です。経営管理の視点から見ると、医師・看護師を始めとしたスタッフ、医療機器などがどの程度効率的に活用されているのかを知る必要があります。その中でも、病床利用率は経営に大きな影響を及ぼす重要な経営管理指標の一つです。

### <当院の実績>

---

	一般病床	精神病床
【平成25年度】	87.6% (216,747/247,470)	84.9% (21,700/25,550)
【平成26年度】	85.6% (211,920/247,470)	72.1% (18,423/25,550)
【平成27年度】	83.7% (207,696/248,148)	58.5% (14,985/25,620)
【平成28年度】	84.2% (208,395/247,470)	50.7% (12,950/25,550)
【平成29年度】	85.3% (210,969/247,470)	50.4% (12,882/25,550)

### <当院の自己点検評価>

---

当院では医師・看護部の協力のもと、現場の動きを監視しながら有効的な病床管理に努めています。また、院内クリティカルパスの活用により、適切な在院日数の指標を得ることが可能となっています。

今後も患者さまから選ばれる病院づくりを目指し、効率的な病床利用を実践していきます。

### <定義>

---

- ・病床数に対する入院患者数の割合

### <算式>

---

分子：年間入院患者数（日々の最終在院患者数の合計）

分母：許可病床年間延数（許可病床数×365日） ※平成23・27年度 366日